

IBM製造業エグゼクティブセミナー

新しい顧客価値を 創造する 先進テクノロジー

2016年2月19日(金) 13:00 ~ 16:30
開催場所: 日本IBM東京本社 302セミナールーム (開場は12:30です)

アジェンダ

基調講演 NISSAN LEGEND 「モノづくりの神髄」

マネジメント改革とものづくり ~日産自動車を例にして~
元 日産自動車株式会社 副会長 高橋 忠生 様

IoTのさらに先行く先進テクノロジーIoA (Internet of Abilities)

IoTの次に訪れるIoAの時代

東京大学 大学院 情報学環 教授
株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長 曙本 純一 様

人工知能を活用した新しいモノづくり戦略とは?

コグニティブ・コンピューティングで切り開く顧客価値
日本アイ・ビー・エム株式会社

新しい顧客価値を創造する先進テクノロジー

* 講演内容・順序は講師の皆様のご都合により変更になることがあります。

基調講演 NISSAN LEGEND 「モノづくりの神髄」

マネジメント改革とともにづくり ～日産自動車を例にして～

元 日産自動車株式会社 副会長
高橋 忠生 様

【プロフィール】1945年福岡県で生まれ。1968年に東京大学工学部産業機械工学科を卒業し日産自動車(株)へ入社。栃木工場の鋳物工場の立ち上げに携わり1983年にはメキシコ・レルマ工場の工場長に就任する。1992年、同社第一技術部次長として座間工場閉鎖を担当した。1998年に取締役、2002年に副社長、2007年に副会長、2009年に退任せし各種外部団体役員を務める。2012年には藍綬褒章を授与された。

講演1: IoTのさらに先行く先進テクノロジーIoA (Internet of Abilities)

IoTの次に訪れるIoAの時代

東京大学 大学院 情報学環 教授
株式会社 ソニーコンピュータサイエンス研究所
副所長 曙本 純一 様

【講演概要】

日産自動車がV字回復を遂げる過程において、ものづくり分野の改革は、現在につながるグローバルなモノづくり展開と競争力を構築する基盤として、改革の中でも非常に重要な要素であった。それまでに経験がないグローバルなビジネス視点、考え方、意識・感覚の違いなど、数多くの問題や摩擦が起ころうなか、現場と経営の融合を目指すため、海外工場立ち上げ、工場長として試行錯誤を繰り返しながら学んだ経験などを活かし、ものづくりのマネジメント改革を推進した。本講演では、変革期において、ものづくりマネジメント改革の陣頭指揮をとった経験を、改めて見直し、ビジネス環境が変化するなかでも日本ならではの、ものづくりにおける強さを引き出し、競争力を高めていくための視点、そして今後のものづくりを推進する方々にむけて自身のマネジメント改革の歴史を紐解くことで見えてきた改革時に必要となるであろうマネジメントのポイントについてお話しする。

講演2: 人工知能を活用した新しいモノづくり戦略とは？

コグニティブ・コンピューティング で切り開く顧客価値

日本アイ・ビー・エム株式会社

【講演概要】

コグニティブ・コンピューティングは、文章・音声・画像といった非構造化データを理解し、論理的に推論し、継続的に学習するシステムです。コグニティブ・コンピューティングによって、製造業の製品サービス、プロセスは自ら思考できるようになり、私たちは、非構造化データによりもたらされる、新しい情報に基づき確実性の高い意思決定ができるようになります。コグニティブ・コンピューティング活用によりもたらされる製造業にとっての新しい顧客価値をテーマにをお話します。

●費用：無料（事前予約制です）

●対象：製造業の役員・マネジャー・リーダーの皆様

お申し込み方法

以下当セミナー「参加申込」ページから、必要情報をご入力のうえお申込みください。申込多数の場合、抽選とさせていただきます。

http://www.b-forum.net/0219

会場案内：日本IBM本社（東京・箱崎）

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

【アクセス】東京メトロ東西線／日比谷線 茅場町駅4番b出口 徒歩7分 東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅2番出口 徒歩3分
東京メトロ日比谷線 人形町駅1番出口 徒歩12分 都営浅草線 人形町駅A4またはA5出口 徒歩12分

発送元・問い合わせ先：株式会社ビジネス・フォーラム事務局 <http://www.b-forum.net>
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F
TEL: 03-3518-6531 FAX: 03-3518-6534 MAIL: customer1@b-forum.net

【主催】日本アイ・ビー・エム株式会社 【協力】株式会社ビジネス・フォーラム事務局